



1938年、東京生まれ  
早稲田大学第一理工学部卒業  
東芝勤務を経て90年に本郷  
学園理事長に就任、95年から  
2002年まで中学・高校校長  
現在香川県教育委員会会長、  
東京香川県人会会長、少林寺  
拳法全日本学生連盟会長など  
13歳から東京79隊（現在の豊  
島第4団）でスカウト活動に参加  
アジア太平洋地域連盟委員、  
日本連盟国際コミッショナーなど  
を歴任  
香川連盟連盟長  
日本連盟理事  
1992年たか章受章  
2010年旭日小綬章を受章  
高松松平家第14代当主  
（まつだいら よりたけ）

## ボーイスカウト関係著名人インタビュー

# 松平 頼武

学校法人本郷学園理事長

「個性を尊重した教育を通して国家有為の人材を育成する」という建学の精神をかかげる私立・本郷学園。中学、高校の6年間をかけ、少年からたくましい青年へと心身ともに成長するよう生徒たちを指導しているという。ご自身も長年、スカウト、指導者である松平理事長にお話を伺いました。

——スカウティングとの出会いは。

**松平** 父（故松平頼明・元日本連盟理事、国際コミッショナー、香川連盟連盟長）が戦後の早い時期からボーイスカウト運動に傾倒していて、三島通陽（第4代総長）、久留島秀三郎（第5代総長）、古田誠一郎（先達）、岩波信平（相談役）、鳴海重和（常任理事）、村山有（理事）、中村ちーやん（中村知先達）、そして海外のスカウト指導者といった方たちがわが家にしょっちゅう出入りしておられました。ですから、当たり前のように、自然にスカウトになりました。

わが家の庭にスカウトハウスを作って活動の拠点にしたり、近くにあった国鉄（現JR）のアパートの屋上にあがって手旗信号の訓練をしたことが懐かしいですね。

東京79隊、現在の豊島第4団にずっと

所属し、隊長もやりました。自然の中でその怖さや美しさを受け入れ、忍耐力や協調性、自活力を養っていくというボーイスカウトの教育哲学・手法は大変すばらしいと思います、今日まで活動を続けています。

——スカウト時代の思い出に残ることは何かありますか。

**松平** 年長隊富士特別訓練には全回参加し、非常に良い経験をしました。また、あいばのでの第2回日本ジャンボリーでは隊長として参加し、とても楽しい思い出です。

1956年、高校2年の春には、海外派遣でアメリカへ行きました。エアリフト交換プロジェクトとって、米空軍がスポンサーで、軍用機で行きました。日本から山口勝治団長（後の日本連盟先達）以下10人。韓国、フィリピンからも参加者が合流し、羽田空港で

結団式を行いました。3月の終わりの朝7時ごろでしたが、三島総長が見送りに来られ、握手した時の手の温もりと「元気で行ってきてね」という言葉を今でも覚えており、これで現在もスカウト活動を続けています。

——その後、社会人になられて東芝に入社されましたが、スカウティングが仕事に役立ったことはありませんか。

**松平** 初めて海外出張でフィリピンへ行った時のことです。当時、フィリピンでは東芝の地熱発電所を造るプロジェクトが進んでいました。まだ若手社員で、たしか主任のころだったと思います。突然の出張命令でした。

発電所建設現場に向かうとき、自動車ですりすましながら通ると、小さな店にスカウトのネッカチーフや制服があるのが目に入りました。とっさに車を止めてその店の人へ実は自分もスカウトであること、この先の工事現場でしばらく働くことなどを話して別れました。

すると、その日の昼に作業所の事務所に車が10台ぐらい連なってやってきました。ボーイスカウトの関係者たちでした。それ以来、毎晩のようにスカウト関係者に食事などの招待を受けました。隊集会にも呼ばれて行きました。

驚いたことにスカウト関係者の中には、医者や裁判官から警察署長、町長まで、地域の有力者がいました。そうした人脈が仕事を進める過程でいろいろ役立ち、建設現場の所長に大いに感謝されたものです。その所長もスカウト経験者でした。スカウト運動の国際的な人のつながりの素晴らしさを痛感しました。

——東芝では、東芝機械ココム違反事件の時は大変だったそうですね。

**松平** 東芝製品の物流を担当する海外運輸部長で、通関書類のすべてが私のサインでした。ココム事件が起きて、突然、税関で東芝の荷物が止まってしまったのです。東芝の他の荷物にも問題があるんじゃないか、というわけです。この時も、ボーイスカウトなどで培った人脈が生きました。役所の中で、旧知の人物などに話をし、きちんと対応してもらおうようお願いしてまわりました。——ビジネスマンとして活躍されている間もスカウティングを続けられたそうですが、大変だったのではありませんか。

**松平** なかなか休みが取れず、長期のキャンプは行けませんでした。ですから、現役のビジネスマンだったころは、ジャンボリーはほとんど見学ぐらいで、参加できていません。

CONTENTS

- 02\_ ふりかえる  
ボーイスカウト日本連盟の90年
- 08\_ 著名人インタビュー  
松平 頼武 (学)本郷学園理事長
- 10\_ 今年の主な行事
- 11\_ 平成24年度 国際交流事業計画(案)
- 12\_ 第16回 日本ジャンボリー開催
- 13\_ 「ウェルカム・ザ・ワールド」プロジェクト
- 13\_ 信仰奨励
- 14\_ 世界のスカウト人口
- 15\_ 70億人の世界、7つの課題
- 15\_ Creating a Better World
- 16\_ 奉仕の精神を学ぶ
- 17\_ エッセイ
- 18\_ スカウトの誇りについて  
奥島孝康 - 日本連盟理事賞
- 20\_ 冬季の事故
- 21\_ 日本連盟情報
- 22\_ ローカルホットライン
- 24\_ 報告 平成23年度アジア太平洋地域  
提携プロジェクト(フィリピン)派遣
- 25\_ スカウティングの  
知っててちょっと良い話 (14)
- 26\_ 新春名刺交換
- 33\_ 第11回日本アグーナリー情報
- 34\_ ともに進もう  
東日本大震災復興支援活動報告
- 35\_ スカウトショップ
- 36\_ ニッポン全国元気団紹介スペシャル  
大阪スカウト会館
- 37\_ アクティビティ  
楽しい写真撮影テクニック
- 38\_ スカウトスキル  
きょうは、炊具なしで調理してみよう

話は前後しますが、オーストラリアの第8回ナショナルジャンボリーの派遣団に隊長として参加しろ、という話がありました。16人ほどの派遣団でした。

東芝の社長と会長を務めた石坂泰三さんが日本連盟総裁の時、社長は土光敏夫さん(後の日本連盟総裁)でしたから、無給だけど休みをやるから行け、というわけです。シドニーでは最初はYMCAが宿舎でしたが、私が交渉して団員がバラバラになってもホームステイをすることにしました。やはり、海外に行ったら、ホームステイしなければダメです。当時のホストファミリーとは今でも文通をしています。

——東芝を退職された後、1995年に本郷中学・高校の校長に就任されました。

【松平】父が1990年に亡くなるまで校長をしていました。その後を継いだわけですが、企業から学校へきて、まったく文化が違うことに驚きました。

最近はいだいぶ変わりましたが、学校というのは基本的に人事考課ができません。企業なら当たり前のことができない。また、指示の系統が企業ではピラミッド型ですが、学校はなべぶた型で、順番に従っての上意下達というわけにはいきません。8年間校長として悪戦苦闘しましたが、なかなかうまくいきません。そこで、他校で教頭だった先生をお願いしてきていただきました。さすがに餅は餅屋です。やりたいことがあったという間にできました。

修学旅行の際など、本当はパトロールシステムを導入して、すべて班長に任せれば、先生の出る幕はありません。そうは思うのですが、なかなか実現できていません。

——教育を通じてどういう人材を育てたいと考えていますか。

【松平】「スマートであれ」「紳士であれ」と常にいっています。そして日本人として国に誇りを持って生きていってほしいと。これはボーイスカウトから得た考え方です。企業にいた時に感じたのは、基礎的な体力、主体性、適応力が必要だということ。その

根本は、いつも誠実であるということだと思っています。

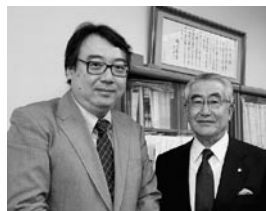
また、世界の中で感じたのは、きちんとした教育・躰を身に付けた人が世の中で成功するということです。

——香川連盟の連盟長をされるなど、香川県とのつながりも深いですね。

【松平】2013年に香川県で全国大会を開くことが決まりました。香川県としては悲願でした。実は香川には日本のスカウティングのメッカがあります。1966年に五色台に昭和天皇が行幸された際、「この岡につどふ子ら見てイギリスの旅よりかへりし若き日を思ふ」という歌をお詠みになりました。香川のスカウトの活動をご覧になった天皇が、皇太子時代に英国でベーデン・パウエル卿を謁見され、スカウト活動をご覧になったのを思い出されたお歌です。今は五色台に歌碑がありますので、ぜひ、訪ねていただきたいと思います。

——スカウティングはこれまで多くの財界人や教育者に支えられてきました。

【松平】社会奉仕団体で多くの経営者が参加しているロータリークラブの中に、スカウト経験者およびこの運動に賛同するものが集まる「インターナショナル・スカウト・ロータリアン」という国際組織があります。その日本支部を日本でも広げようと考えています。2015年の世界スカウトジャンボリーに向けて広く基金集めをし、またスカウティングを多くの子どもに経験させたいと思っています。



聞き手：磯山友幸  
経済ジャーナリスト。1962年生まれ。日本経済新聞社でチューリッヒ支局長などを務めて2011年3月末独立。日本連盟広報委員。富士スカウト。

日本連盟 1月・2月の主な予定

(発行日時点で実施済みのものを含みます)

- 1月 7日 (土) ○平成23年度日韓スカウト交歓計画 (16日まで)  
○平成23年度日韓スカウト交流プログラム (9日まで)
- 1月10日 (火) ○政策委員会 (第9回)  
○運営会議 (第9回)
- 1月14日 (土) ○全国国連盟コミッショナー会議 (第3回) (15日まで)
- 1月17日 (火) ○臨時理事会

- 1月20日 (金) ○広報委員会 (第4回)
- 1月21日 (土) ○平成24年度WB実修所所長・主任所  
員会議 (22日まで)  
○16NJ・23WSJ部長会議
- 1月28日 (土) ○新指導者訓練体系タスクチーム会議 (第3回) (29日まで)  
○県連盟代表者会議
- 1月29日 (日) ○教育規程改定検討タスクチーム (第13回)
- 2月 5日 (日) ○安全促進フォーラム
- 2月11日 (土) ○安全委員会 (第4回)
- 2月14日 (火) ○政策委員会 (第10回)

- 運営会議 (第10回)
- 2月18日 (土) ○国際委員会 (第4回) (19日まで)
- 2月19日 (日) ○平成23年度バングラデシュ派遣直前  
準備訓練 (20日まで)
- 2月21日 (火) ○平成23年度バングラデシュ派遣 (3月5日まで)
- 2月24日 (金) ○韓国連盟総会・日韓首脳会議 (26日まで)
- 2月25日 (土) ○プログラム委員会 (第4回)  
○教育規程改定検討タスクチーム (第14回) (26日まで)
- 2月26日 (日) ○CJK事務局長会議 (27日まで)